



第一学年通信



2024年12月6日(金)
第1学年便り
第29号
江戸川区立東葛西中学校

今週も進路学習を続けています。



先週の学年通信でお伝えしているように、第1回目は『私たちが「学ぶ理由」は何だろう?』を考えました。2回目は『私たちが「働く理由」は何だろう?』を考えていきました。そして、今週の月曜日の3回目は『「自分の良さ」「友達の良さ」を見つけよう』と題して、自分の良さや個性について考えてみました。

友達や班員とお互いにそれぞれの良い点を考え伝え合いました。それでも、なかなか素直には長所が見つからないという人は、次の5つを考えてみると良いそうですよ。少し考えてみてください。

1. 他人にイラッとしたこと。なんでそんなこと出来ないの?と自分が簡単にできていること。
2. 他人から注意されたこと、突き抜けているところ。短所は長所。
3. 「やっちゃダメ」と禁止されたらつらいこと。やる気がなくてもできること。
4. 短所を、だからこそと言い換えてみる。
5. ほかの人は嫌がるのに、自分には楽しいこと。才能。

4の短所をだからこそ、と言い換える方法はリフレーミングと言ってネガティブなことをポジティブに変える技術です。短所ならたくさん考え付くという人は、それがほかの人とは違うこと、だからこそ…もしかしたら長所になるところかもしれません。いつも騒がしい人は明るくて賑やかな人なのかもしれないし、大人しくて目立たない人もじっくりと落ち着いて考えることができる人なのかも。そんな自分や周りの人を受け入れ認めていくことが、大人になることかもしれません。欠点とは欠かせない点なのだそうです。

進路学習を通して、将来の生活に向けて少しずつ現実的に考えていくようになっていきます。普段の学校生活や家庭での暮らしの中で、人の役に立ったり、自分の成長へとつながる行動をとれるようにしていきましょう。自分も周りの人たちも良いところを見つけて、お互いの長所を大切に育て認め合い、みんなで気持ちよく過ごせる集団にしていきたいですね。



ビブリオバトルに挑戦します!!

「ビブリオ」は書物などを意味するラテン語由来の言葉。

「ビブリオバトル」とは、京都大学大学院情報学研究科の谷口忠大教授が考案した、ゲーム感覚を取り入れた新しいスタイルの「書評合戦」です。発表参加者(バトラー)たちがおすすめ本を持ち合い、1人5分の持ち時間で書評した後、バトラーと観客が一番読みたくなった本、「チャンプ本」を決定します。

東葛西中学校でも読書の魅力をみんなで広げていけるようにと、ビブリオバトルについての説明が12月4日に行われました。以下が東葛西中のビブリオバトルの流れです。



- ①紹介する本を1冊準備します。
- ②本の魅力について3分間話します。
(本来のルールは5分ですが、東葛西中では3分で行います。)
- ③本についての魅力を引き出すポジティブな質問をします。
- ④みんなで投票してどの本が一番読みたくなったかの「チャンプ本」を決めます。



12月10日(火)11日(水)でビブリオバトルのワークシートの作成をしていきます。3学期には発表練習、班発表、クラス発表、そして学年発表を予定しています。みんなに読んでもらいたい本の魅力を伝えられるよう準備をしていきましょう。

笑顔と学びの体験活動プロジェクト

「パンプキン！ -模擬原爆の夏-」

12月12日(木)の5・6校時は本校の体育館で観劇をする予定です。

都内の公立学校に多様な体験活動に触れる機会を増やす目的で「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」という取り組みがあり、東葛西中学校では平和教育の観点から東京芸術座をお招きすることになりました。内容は戦争についてのもの。戦争の悲惨さを知ることにより、平和を守ること、また平和的な方法によって対立や紛争に対処していく考え方や力がみんなの中に育っていくことを願っています。



あたしは、大阪に住む小学5年生のヒロカ。夏休み、わが家に、同じ年のいとこ・たくみが、「模擬原爆」について調べるためにやってきた。模擬原爆というのは、原子爆弾を落とす練習用の爆弾なのだそうだ。そんなものがあるなんて、知らなかった！ しかも、その練習用の爆弾で、たくさんの人が亡くなったと聞いて、あたしもたくみと一緒に調べることに……。

1945年、第二次世界大戦が終戦を迎えようとしていた直前、日本全土に「パンプキン」という名の爆弾が大量投下されていたことを知っていますか。そもそもパンプキンとはなにか——。

1945年のあの夏、長崎に投下された原爆「ファットマン」と形、重さまでそっくりのもので、かぼちゃのような丸い形をしていたことからパンプキンと呼ばれました。パンプキンには核物質は含まれず、あくまで原爆投下時の軌道や特性を調べるためのシミュレーション用に作られたもの。しかし、だからといって被害を生まなかったわけではありません。むしろパンプキンは約4.5トンの巨大な爆弾であったため、日本全国の投下先では、多くの悲劇を生み出したのです。パンプキンによる被害者の数は死者400名以上、負傷者1300名超——。とてつもない数の日本人が「練習用の爆弾」で命を奪われたのです。

三者面談ありがとうございます



来週の月曜日まで三者面談を実施しています。お忙しい中、ご来校いただきありがとうございます。面談では各教科の授業の様子(提出物、忘れ物、授業態度等)と二学期の学校生活の様子や、二年生に向けてのお話をしています。

三者面談翌日から、未提出の提出物を出したり、授業内の提出物を丁寧に仕上げ出て出したり、先生の説明を積極的にメモしたり、「忘れないぞう」に持ち物を詳しく記入したり、自分から頑張ろうという姿がたくさん見られ、とても嬉しく思いました。一年生のうちに、提出物の期限を守って提出する習慣をつけましょう。工夫してノートを取り、プリント等の課題に主体的に取り組む姿勢が身に付くと、すぐには成果が見られなくても少しずつ学力がついてきます。二学期も残り3週間となりましたが、二学期のまとめの時期の授業を大切に、集中して取り組んでいきましょう。

今後の予定

月	日	曜	学校行事等	1	2	3	4	給	5	6
12	9	月	朝礼なし 三者面談 45分①⑥カット	②	③	④	⑤	○		
	10	火	よむ YOMU	①	②	③	④	○	⑤	読
	11	水		①	②	③	④	○	総	
	12	木	笑顔と学びの体験活動プロジェクト ①②カット	③	④	⑤	⑥	○	総	総
	13	金	専門委員会 週番引継	①	②	③	④	○	⑤	道